

学長プロジェクト1 「会計学の新展開」 活動報告

学長プロジェクト1

【報告者】

榎岡 源一郎

報告概要

- I. 活動概要
- II. プロジェクトメンバー
- III. プロジェクト1会議
- IV. CUC公開講座 in 丸の内
- V. 日本計画行政学会報告
- VI. 分科会活動
 - 1. 「ICTを活用した新たなマネジメント会計」
 - 2. 「公会計改革と自治体財政」
 - 3. 「やってみるといふ学び方の実践」
- VII. その他活動
- VIII. 今後の展望

I. 学長プロジェクト1「会計学の新展開」活動概要



Accounting(アカウンティング)とAccountability(アカウンタビリティ)を担う、「会計学(Accounting)の新たな展開」をめざし、情報ネットワーク社会に対応するとともに、会計学(Accounting)の社会的役割である意思決定過程の厳正な明確化と透明性を確保し、企業経営と事業活動の説明責任(Accountability)を果たすことを可能とする対策を探求し、情報発信していきます。

Ⅱ. プロジェクトメンバー

リーダー	梶岡 源一郎	副学長・教授(商経学部)	メンバー	土屋 清人	専任講師(商経学部)
リーダー代行	千葉 啓司	教授(商経学部)	〃	寺野 隆雄	教授(基盤教育機構)
サブリーダー	谷川 喜美江	教授(商経学部)	〃	中村 元彦	教授(会計ファイナンス研究科)
メンバー	赤木 茅	助教(基盤教育機構)	〃	根岸 亮平	専任講師(商経学部)
〃	石黒 秀明	教授 (会計ファイナンス研究科)	〃	宮田 大輔	教授(商経学部)
〃	伊藤 康	教授(人間社会学部)	〃	森 浩気	専任講師(商経学部)
〃	大塚 茂晃	准教授(商経学部)	〃	山田 武	教授(国際教養学部)
〃	柏木 将宏	教授(国際教養学部)	〃	渡邊 圭	専任講師(基盤教育機構)
〃	ギルダート サムエル	准教授(商経学部)	〃	内田 茂男	理事長
〃	久保田 俊介	助教(基盤教育機構)	〃	出口 弘	特別客員教授 (サイエンスアカデミー)
〃	小林 航	教授(政策情報学部)			
〃	田原 慎二	専任講師(商経学部)			
〃	趙 珍姫	研究科長・教授 (会計ファイナンス研究科)			
〃	土屋 和之	教授(商経学部)			

Ⅲ. プロジェクト1会議

- 2017年度
 - 5月17日(水)、6月14日(水)、8月2日(水)
- 2018年度
 - 5月30日(水)、11月21日(水)
- 2019年度
 - 5月8日(水)、7月3日(水)、10月2日(水)、2020年1月8日(水)、
200年2月10日(月)
- 2020年度
 - 5月12日(火)、6月3日(水)、7月7日(火)、8月5日(水)、
10月6日(火)、12月1日(火)、2021年2月2日(火)

公開講座の開催と概要、学会報告、分科会の活動報告と予定
書籍出版について など

IV. CUC公開講座 in 丸の内



➤ 2017年度

◆ 2017年10月28日(土)

第4回「企業会計の今日的課題について Part1

—ITを利用した未来の会計と監査の方向性—

講師：千葉商科大学大学院 会計ファイナンス研究科 中村 元彦

◆ 2018年2月24日(土)

第8回「企業会計の今日的課題について Part2-AIと会計教育—

講師：トヨタデータサイエンス研究所 所長 萩原 静蔵 氏

株式会社マネーフォワード 執行役員 神田 潤一 氏



➤ 2018年度

◆ 2018年6月23日(土)

第3回「ICTが変えるマネージメント — 新たな管理会計に向けて —」

講師：東京工業大学総合理工学研究科 出口 弘特別客員教授

◆ 2018年12月1日(土)

第6回「e-Taxに関する最近の動向と今後の取組—電子申告義務化と税務行政の将来像—」

講師：国税庁長官官房企画課 情報技術室長 菅 哲人 氏

(日本公認会計士協会、東京税理士会、千葉県税理士会の認定研修として開催)



IV. CUC公開講座 in 丸の内



➤ 2019年度

◆ 2019年6月29日(土)

「AI研究の概観とAIベンチャー事例ー若手研究者が主役の時代ー」

講師: 公益財団法人 未来工学研究所 主席研究員 多田 浩之 氏

◆ 2019年11月16日(土)

「消費税の軽減税率・インボイス制度と実務」

講師: 国税庁課税部軽減税率制度対応室長 櫻井 淳 氏

(日本公認会計士協会、東京税理士会、千葉県税理士会の認定研修として開催)

➤ 2020年度

◆ 2020年10月23日(金) オンライン開催

「電子インボイス情報の活用事例

ーエストニアにおける活用事例と我が国における将来展望ー」

講 師: 東京工業大学総合理工学研究科 出口 弘 特別客員教授

千葉商科大学基盤教育機構 寺野 隆雄

千葉商科大学大学院 会計ファイナンス研究科 中村 元彦

千葉商科大学基盤教育機構 赤木 茅



V. 日本計画行政学会報告 第41回大会

@福岡大学

➤ 日時 2018年9月8日(日) 9:15~10:45

➤ テーマ

『新たな会計情報の利活用～SDGsを見据えて』

➤ 報告者及び報告概要

1.「学長プロジェクト1説明」

担当: 梶岡源一郎

2.「新たな情報をもたらす会計方式」

担当: 出口 弘

3.「産業連関・国民経済計算での利活用」

担当: 赤木 茅

4.「会計情報システムの進展」

担当: 千葉 啓司

5.「税務行政におけるICT化の促進と行政活用」

担当: 谷川喜美江

6.「総括」

担当: 田原 慎二

V. 日本計画行政学会報告

第42回大会 @徳島文理大学 徳島キャンパス

➤ 日時 2019年9月13日(金) 13:15~14:45



➤ テーマ

『大学における地方創成を担う人材育成に関する研究
- ICT会計の将来的な活用を焦点として-』

➤ 報告者:

梶岡源一郎、谷川喜美江、渡邊圭、久保田俊介



➤ 報告概要

千葉商科大学の会計教育事例、瑞穂会における教育の紹介
中小企業におけるICT会計の活用について報告

V. 日本計画行政学会報告

第43回大会 @東京工業大学 大岡山キャンパス

(オンライン開催)

- 日時 2020年11月28日 10:30~12:00
- テーマ:
『急激な社会変化に対応しうる人材育成に関する研究
-千葉商科大学の会計業界における人材育成を焦点として-』
- 報告者:
梶岡源一郎、谷川喜美江、渡邊圭
- 報告概要
コロナ禍が企業に与える影響、
財務会計・税務会計の各分野におけるICT化の現状

VI. 分科会活動

1. 「ICTを活用した新たなマネジメント会計」

➤ 目的：

製造現場に着目し、IoTで製造機械の情報を自動的に取り出し、これを会計情報として取り組む

➤ 調査・研究

- ・下諏訪の企業への調査
- ・大田区オープンファクトリーにおけるIoT型会計システムの開発
- ・エストニア・フィンランドへの電子インボイス調査

など

➤ メンバー：

出口弘(東京工業大学総合理工学研究科・特別客員教授)
寺野隆雄、中村元彦、田原慎二、赤木茅

VI. 分科会活動

1. 「ICTを活用した新たなマネジメント会計」

SUT作成におけるインボイス情報活用に関する

調査研究

➤ 2020年1月15日－1月22日



➤ 目的:

エストニア・フィンランドへインボイスの運用手法及び
データ活用事例研究並びにX-Road活用研究

➤ 調査研究メンバー:

出口弘

(東京工業大学総合理工学研究科・特別客員教授)

寺野 隆雄、赤木 茅

➤ 紹介ページ

https://www.cuc.ac.jp/om_project/dctmu00000000ngd.html



VI. 分科会活動

2. 「公会計改革と自治体財政」

- 目的：
自治体財政の持続可能性を確保するため、発生主義会計の活用状況や中長期推計の実施状況を調査し、課題を探る。

- ミーティング：
2019年4/24、5/18、6/15、7/13、9/30、10/28、2020年1/27

- 自治体ヒアリング調査：
 - 千葉県市川市：2019年11月22日に実施。
 - 石川県輪島市：2020年2月18日・19日に実施

- メンバー：
小林航、大塚茂晃、根岸亮平、森浩気

VI. 分科会活動

3. 「やってみるといふ学び方の実践」

- 学生メンバーによる活動と研究活動の2本の柱
- メンバー: 榎岡源一郎、谷川喜美江、渡邊圭、久保田俊介(~2019)
- 2018年度学生メンバー:
 - 羽石 有沙(商経学部・代表)
 - 古川 さくら(人間社会学部)
 - 市川 千裕(サービス創造学部)

他瑞穂会出身学生

- 2019年度学生メンバー:
 - 紺野凌(商経学部・代表)
 - 伊藤大策(商経学部)
 - 吉池里佳子(商経学部)
 - 中村有希(商経学部)

他瑞穂会出身学生



VI. 分科会活動

3. 「やってみるといいう学び方の実践」

商品別時間帯別売上高1日目(単位:円)

研究活動

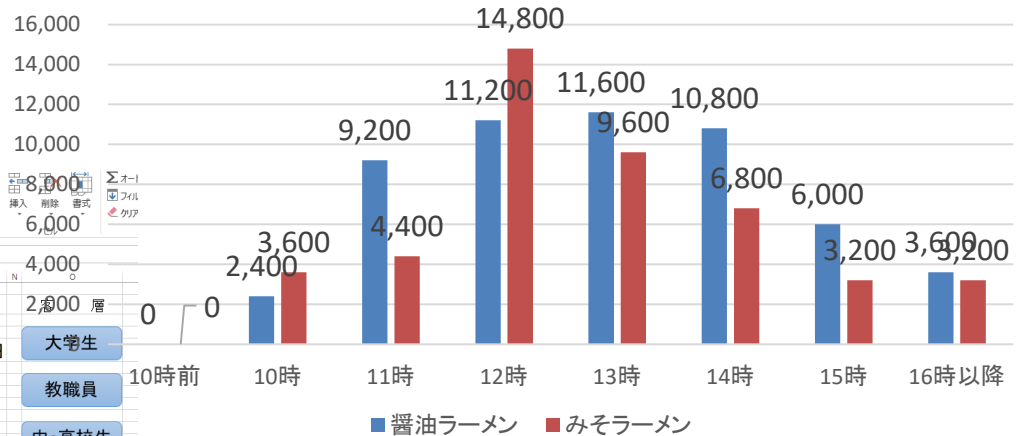
➤ ICT帳簿の研究

2020/1/9 00:05:12 現在

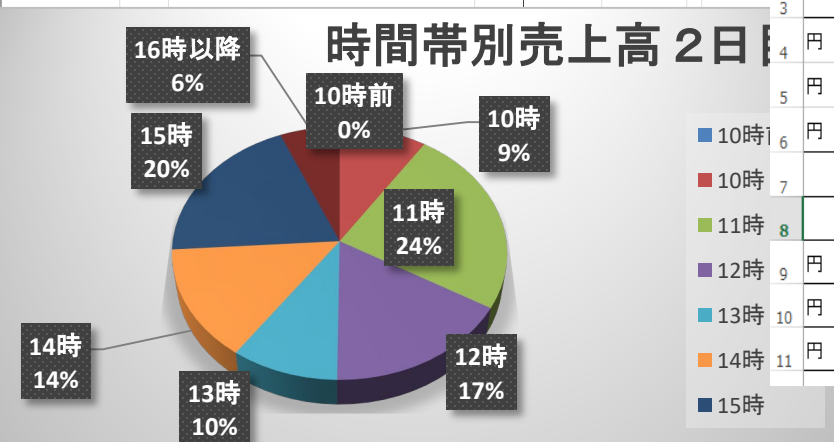
- 醤油ラーメン 2杯 400円/杯 800円
- みそラーメン 1杯 400円
- 代金 1,200円

リセット

目録売上高まであと、...



	J	K	L	M	N
		予算	実績	差異	実績+協賛品原価
売上高	円	240,000円	260,500円	20,500円	260,500円
変動費	円	29,766円	9,845円	19,921円	216,518円
貢献利益	円	210,234円	250,655円	40,421円	43,982円
固定費	円	30,962円	27,520円	3,442円	27,520円
営業利益	円	179,272円	223,135円	43,863円	16,462円
差異分析		消費税は変動費の一部としています。			
項目		予算	数量差異	価格差異	実績
1日目売上高	円	120,000	-19,600	0	100,400
2日目売上高	円	120,000	44,400	-4,300	160,100



VII. その他 活動

- 2017年8月16日(金)
日本商工会議所主催『プラスITセミナー』
参加



- 2019年7月24日(水)
『SDGs達成のための国際連帯税を実現するシンポジウム
2019』参加

- 2019年11月30日(土)
『デジタル課税研究会』の開催 講師 税理士・山本守之氏

など

VIII. 今後の展望

➤ ICTを活用した新たなマネジメント会計分科会

- 会計情報やインボイス等の情報管理におけるICTの活用
- エストニアにおける電子インボイスの活用例の調査研究
- エストニアのGofore社とMOUの締結による調査研究

➤ 公会計改革と自治体財政分科会

- 公会計の利用・整備を調査研究
- 自治体公表の公会計データ分析
- 公会計の利活用を調査研究

➤ やってみるといふ学び方の実践分科会

- ICT化が進展する会計業界の現状と求める人材調査研究
- 持続可能な社会を実現し会計業界が求める人材を育成するための大学教育
- 学生メンバーによるICTを活用した会計データ収集・分析活動
- 資格取得・実務経験の一貫教育

➤ 市川産業連関